

平成 20 年 度

施 策 事 業 実 施 計 画 説 明 書

弥 彦 村

目 次

・平成20年度 一般会計予算	
予算編成の背景と基本的な考え方	1～2
歳入予算の概要	3～6
歳出予算の概要	7～24
・平成20年度 特別会計予算	
国民健康保険特別会計予算について	25
老人保健特別会計予算について	26
後期高齢者医療特別会計予算について	26
介護保険特別会計予算について	27
競輪事業特別会計予算について	28
温泉事業特別会計予算について	29
宅地造成事業特別会計予算について	29
・平成20年度 企業会計予算	
水道事業会計予算について	30
下水道事業会計予算について	31
・平成20年度課別施策事業一覧表	
総務課	32～33
住民福祉課	34～37
産業振興課	38～40
建設企業課	41
教育課	42～44
(補足説明資料)	
財政指標について	45
平成20年度各会計予算総括表	46
一般会計の収入内訳	47
一般会計の予算配分	48
一般会計の財源構成の推移	49
一般会計歳出の性質別構成について	50
地方交付税の年度推移	51
税収入に関する調	52
競輪事業収益収入の推移	53
歳入歳出予算款別性質別財源内訳	54
歳出予算節別明細表	55
平成20年度一般会計事業別予算集計表	56～63

平成20年度 一般会計予算

予算編成の背景と基本的な考え方

平成19年度の我が国経済は、一部に弱さがみられるものの、景気は回復を続け、企業部門の底堅さが持続し、景気回復が続くと見込まれるものの、改正建築基準法施行の影響により住宅建設が減少していること等から、回復の足取りは緩やかになると見込まれています。

物価の動向をみると、原油価格の高騰により石油製品が、また、バイオ燃料の製造により穀物類が値上がりしているため、消費者物価指数は上昇すると見込まれます。一方、サブプライム住宅ローン問題を背景とする金融資本市場の変動、原油価格の高騰等が我が国に与える影響について注視していく必要があります。

「平成20年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によれば、政府は、「希望と安心」の国の実現に向け、「自立と共生」の理念に基づき、安定した経済成長を図るとともに改革を進め、①活力ある経済社会の実現、②地方の自立と再生、③国民が安全で安心して暮らせる社会の実現を図ることとしています。

平成20年度においては、「基本方針2006」「基本方針2007」等を踏まえ、成長力強化及び地方の自立と再生に取り組むとともに、財政健全化に向けた歳出・歳入一体改革等を進めることとしています。

政府と日本銀行は、民間需要主導の持続的成長を図り、これと両立する安定的な物価上昇率の定着に向け、マクロ経済運営に関する基本的視点を共有した政策運営を行うこととしているほか、今後とも、経済情勢によっては、大胆かつ柔軟な政策運営を行うこととしています。なお、平成19年度に引き続き、海外経済の動向などにみられるリスク要因が我が国経済に与える影響については注視する必要があるとしています。

平成20年度の我が国経済については、世界経済の回復が続く下、平成19年度に引き続き企業部門の底堅さが持続するとともに、家計部門が緩やかに改善し、「自立と共生」を基本とした改革への取組の加速・深化と政府・日本銀行の一体となった取組等により、物価の安定の下での民間需要中心の経済成長になると見込まれています。

そうした中で、平成20年度の地方財政は、地方財政計画の規模の抑制に努めてもなお平成19年度に引き続き大幅な財源不足の状況にあります。社会保障関係経費の自然増が見込まれることに加えて、地方財政の借入金残高は平成20年度末に197兆円になると見込まれ、今後、その償還負担が高水準で続くことから、将来の財政運営が圧迫されることが強く懸念されています。

現下の極めて厳しい地方財政の状況、国・地方を通ずる歳出・歳入一体改革の必要性を踏まえると、地方公共団体においては、地方分権の時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立するため、引き続き徹底した行財政改革を推進するとともに、歳出の徹底した見直しによる抑制と重点化を進め、歳入面でも自主財源について積極的な確保策を講じるなど、効率的で持続可能な財政への転換を図ることが求められております。

本村の財政状況につきましては、税収が少しずつ伸びているものの、平成4年度以降の数次にわたる経済対策等の影響や、平成13年度から普通交付税の一部が臨時財政対策債に振替えられたことにより大量の村債の発行を余儀なくされ、未償還残高が過去最高になるなど、かつてない困難な状況に直面しています。

平成20年度の予算編成にあたりましては、このような現状を踏まえ、先に公表した「第3次行政改革大綱」に基づく「集中改革プラン」を基本としながら、限られた財源を重点的かつ効率的に配分するために、事業の性格や効果を十分再検討し、要求段階から十分な選択と調整を行い、消費的経費については今までの慣例にとらわれることなく徹底的な再検討を加えて節約し、その余裕財源をもって効果的に投資的経費に充当するよう配慮したところであります。

歳入予算につきましては、三位一体の改革に伴う所得税から個人住民税への税源移譲の実施など、税制改正や景気の動向による地方税の増減とそれに伴い変動する地方特例交付金を的確に見込み、地方財政計画に基づき譲与税、交付金、交付税、地方債の算定を行いました。

また、歳出予算につきましては、村民の福祉の向上と生活の安定を最優先とし、村内の道路網の整備補修、農業、商工業、観光の振興を図る施策を講ずる一方で、扶助費や公債費、下水道事業への繰出金、債務負担行為に伴う償還金などといった義務的経費、公共施設等の維持補修に係る固定経費を的確に把握し、第四次総合計画の最終年として、計画に掲げた「住みよい暮らし」・「自然と調和」・「活力ある産業」・「健康と思いやり」・「学びと交流」・「力を合わせる」弥彦の実現を図るため、限られた財源を効率的に配分することを十分配慮しながら予算編成を行いました。

歳入予算の概要

1 款 村 税 1, 0 3 7, 2 4 2 千円

平成20年度の村税は、前年度に対して、△7, 822千円、0.7%の減で計上いたしました。

○個人村民税 321, 200千円 対前年度 3, 200千円 増

増収要因としては、平成19年度に実施された所得税からの税源移譲による影響が、平成19年度予算額よりも約1千万円程度増となるためであり、20年度予算は、19年度決算見込額に加え以下の点を考慮して計上いたしました。

65歳以上の一定所得額以下の非課税規定の廃止に伴って年次的に課税額を引上げる経過措置が平成19年度で終了したことによる増額分 約200万円

税源移譲により所得税が減額となったことから、これまで住宅ローン控除を受けていた方の税額控除が平成19年分の所得税からは引ききれなくなるという事態が生じることとなり、この引ききれなかった額を住民税申告により平成20年度の住民税から控除する住宅ローン控除による減額分 約800万円

なお、この減額分については後日国から補てんされることとなっております。

○法人村民税 70, 001千円 対前年度 10, 000千円 減

平成18年度の法人税では、8千6百万円の収納額となりましたが、収益を上げた法人の多くは設備投資により翌年は申告税額が減少する傾向があり、平成19年度においては伸び悩んでいる状況にあります。平成20年度については、これらの要件が終了していると思われませんが、経済状況を考慮し1千万円減で計上いたしました。

○固定資産税 552, 000千円 対前年度 4, 965千円 増

全国的に土地の下落傾向が続いていますが、当村においても同様の状況となっており、下落修正を実施したことにより減額となっております。しかし、償却資産評価においては設備投資により増加となり、土地の減額分と償却資産の増額分を合わせると増額となることなどを考慮して計上いたしました。

○軽自動車税 16, 941千円 対前年度 340千円 増

12月末現在の保有台帳により、台数を的確に把握し計上いたしました。

○たばこ税 46, 700千円 対前年度 4, 227千円 減

平成18年7月に税率引上げがあり、平成19年度では増額になると見込んでおりましたが、逆に禁煙者が増加する結果となっていることなどを考慮して計上いたしました。

○入湯税 30,400千円 対前年度 2,100千円 減

依然として旅館関係は入込み客の低迷が続いておりますが、平成19年度は中越沖地震の影響もあり、申告額が減少している状況にあるため、平成20年度においては地震の影響はないものの旅館関係の減少分を考慮して計上いたしました。

2款 地方譲与税	70,000千円
-----------------	-----------------

○自動車重量譲与税 52,000千円

○地方道路譲与税 18,000千円

地方財政計画の伸率を参考にして前年度対比1,000千円増で計上いたしました。

3款 利子割交付金	3,000千円
------------------	----------------

平成19年度決算見込額を考慮して前年度同額で計上いたしました。

4款 配当割交付金	2,000千円
------------------	----------------

平成19年度決算見込額を考慮して前年度同額で計上いたしました。

5款 株式等譲渡所得割交付金	1,200千円
-----------------------	----------------

平成19年度決算見込額を考慮して前年度対比400千円減で計上いたしました。

6款 地方消費税交付金	80,000千円
--------------------	-----------------

平成19年度決算見込額を考慮して前年度同額で計上いたしました。

7款 自動車取得税交付金	30,000千円
---------------------	-----------------

自動車の販売動向と平成19年度決算見込額を考慮して前年度同額で計上いたしました。

8款 地方特例交付金	14,900千円
-------------------	-----------------

児童手当特例交付金及び個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の減収補てん措置分の特例交付金で13,000千円、減税補てん特例交付金が平成18年度をもって廃止されたことに伴う経過措置として交付される特別交付金1,900千円を地方財政計画に基づき計上いたしました。

9 款	地方交付税	1, 080, 000 千円
------------	--------------	-----------------------

○普通交付税 1, 010, 000 千円

○特別交付税 70, 000 千円

地方税の偏在是正による財源を活用して、地方財政計画に地方が自主的・主体的に取り組む活性化対策に必要な経費を包括的に算定する「地方再生対策費」が新たに4, 000億円計上され、地方交付税の総額が前年度比1. 3%の増と示されていることから、平成19年度決算見込額及び基準財政需要額と基準財政収入額の内容を分析し、弥彦村の地方再生対策費分42, 000千円などを考慮した上で、普通交付税は前年度比30, 000千円の増額、特別交付税は前年度同額で計上いたしました。

10 款	交通安全対策特別交付金	1, 500 千円
-------------	--------------------	------------------

平成19年度決算見込額を考慮して前年度と同額で計上いたしました。

11 款	分担金及び負担金	75, 221 千円
-------------	-----------------	-------------------

平成19年度決算見込額を考慮し前年度対比4, 319千円増で計上いたしました。

12 款	使用料及び手数料	26, 419 千円
-------------	-----------------	-------------------

平成19年度決算見込額を考慮し前年度対比174千円減で計上いたしました。

13 款	国庫支出金	107, 174 千円
-------------	--------------	--------------------

総務費・民生費・衛生費・土木費・教育費への各款にわたり、それぞれ交付基準に基づき負担金・補助金・委託金として交付される額を前年度対比9, 519千円減で計上いたしました。減額の主な要因としましては、参議院議員選挙事務委託金の減、雪害対策事業費補助金の減などがあります。

14 款	県支出金	166, 538 千円
-------------	-------------	--------------------

総務費・民生費・衛生費・農林水産業費・商工費・土木費・教育費へと各款にわたり、それぞれ交付基準に基づき負担金・補助金・委託金・貸付金として交付される額を前年度対比8, 029千円増で計上いたしました。増額の主な要因としましては、後期高齢者医療制度に係る保険基盤安定拠出金などがあります。

15款 財産収入	12,826千円
-----------------	-----------------

村有財産貸付収入が主であります。村有地の売払収入を見込んで前年度対比8,097千円増で計上いたしました。

16款 寄附金	1,008千円
----------------	----------------

各費目に対する寄附金を前年度同額で計上いたしました。

17款 繰入金	60,932千円
----------------	-----------------

老人保健特別会計、温泉事業特別会計、宅地造成事業特別会計からの繰入金40,000千円、寄付金積立基金、ふるさと水と土保全基金、文化財保護基金などの基金繰入金7,000千円、また、財政融資資金貸付金のうち利率の高いものを補償金なしで繰上償還できる制度を利用するため、減債基金から13,931千円を繰入することとし、前年度対比49,929千円の増で計上いたしました。

18款 繰越金	50,000千円
----------------	-----------------

平成19年度の決算見込額を考慮し、前年度対比10,000千円減で計上いたしました。

19款 諸収入	258,440千円
----------------	------------------

例年、各種貸付金元利収入、雑入が主な内容ですが、後期高齢者保険事業受託収入及び消雪パイプの補償金の増などを考慮して、前年度対比26,141千円の増で計上いたしました。

20款 村債	181,600千円
---------------	------------------

財源の不足を補うため、また、世代間の負担を公平にするために以下の事業について村債の発行を予定しました。

衛生債 自然環境整備事業に充当するため。

農林水産業債 西蒲原農地防災事業に伴う県負担金に充当するため。

土木債 道路・歩道の新設改良及び消雪施設の整備に充当するため。

臨時財政対策債 交付税の減少分を補てんするため。

合計で前年度対比31,500千円の減で計上いたしました。

以上、歳入予算の主な項目について説明いたしましたが、健全財政の観点から歳入欠陥が生じないように精査し、それぞれ計上をいたしました。

歳出予算の概要

1款 議会費	62,769千円
---------------	-----------------

議員報酬、職員の人件費、議会報発行、及び議員政務調査費補助金などの議会活動に係る経費を計上いたしました。

2款 総務費	326,067千円
---------------	------------------

1項 総務管理費	232,933千円
-----------------	------------------

1. 一般管理費 128,534千円

特別職及び一般職員の人件費並びに一般事務にかかる経費や、職員の資質向上を図るための研修経費、学校・保育園・巡回バスの運転業務委託料、燕・弥彦総合事務組合共通経費にかかる負担金などを計上いたしました。

2. 文書広報費 3,734千円

村民の皆さんの紹介や村の行事に関するお知らせ、主要課題に対する特集記事など、皆さんが読みやすく興味をもち、わかりやすい広報紙とするために必要な経費と、村外の方に広く当村を紹介するフリーペーパーの発行やホームページの一部リニューアルにかかる経費を計上いたしました。

3. 財政管理費 1,899千円

予算書作成や庁内の財務会計にかかるソフトウェア、機器の賃貸借料及び保守管理委託にかかる経費を計上いたしました。

4. 会計管理費 499千円

出納事務及び決算書作成にかかる経費を計上いたしました。

5. 財産管理費 53,465千円

役場庁舎、公用車、村有財産の維持管理にかかる経費、県央土地開発公社弥彦村事務所保有の「やひこ桜井郷温泉民活関連用地」取得費などの経費を計上いたしました。

6. 交通安全対策費 11,381千円

交通事故のない明るいむらづくりを図るため、幼児やお年寄りの皆さんに対する交通安全教育の積極的な推進や、路面表示・反射鏡・防犯灯などの施設整備に係る経費を計上いたしました。

7. 自治振興費 8,628千円

自治功労表彰経費及び区長、町内会長に対する報償及び行政事務連絡にかかる手数料等を計上いたしました。

8. 企画費 19,497千円

第五次総合計画策定経費、広域的な共通行政課題の研究を進めるための広域圏事業費、弥彦村の将来を担う人材育成の基盤づくり及び個性豊かな地域づくりを目的とする人材育成事業費、豊かな景観を次代に引き継ぐための景観づくり事業費、庁内IT推進事業費などをそれぞれ計上いたしました。

9. 簡易郵便局運営費 5,296千円

矢作簡易郵便局の運営にかかる経費を計上いたしました。

2項 徴税費 55,711千円

1. 税務総務費 42,787千円

人件費及び過誤納還付金などに係る経費を計上いたしました。

なお、住民税の税源移譲により、所得税が19年1月（当月分）から減少し、住民税は同年6月（平成18年分確定申告により賦課）から増加となって所得税と住民税を合わせた額は基本的に変わらないとされております。

しかし、平成19年中に退職若しくは廃業等の事由により、所得税が発生しない程度の所得となった方については住民税だけが増加し、所得税の減額ができないこととなってしまうことから、この減額調整分を市町村が平成20年度において歳出還付しなければならないことになり、この部分を過誤納還付金に増額して計上いたしました。

なお、この歳出還付に係る県分については年度内において補てんされることになっております。

2. 賦課徴収費 12,924千円

徴収事務に係る事務費並びに各税目の賦課に係る電算委託料等を計上いたしました。なお、徴収に当たっては負担の公平を原則として適正課税と税収確保に一層努力してまいります。

3項 戸籍・住民登録費 29,836千円

1. 戸籍・住民登録費 29,062千円

職員の人件費及び行政の基本となる住民記録、戸籍事務の電算処理システム及び住民基本台帳ネットワークシステムの維持管理にかかる経費を計上いたしました。

2. 一般旅券発給費 774千円

18年10月に県より事務委譲された一般旅券発給事務にかかる経費を計上いたしました。

4項 選挙費 5,664千円

1. 選挙管理委員会費 487千円

委員報酬及び一般事務にかかる経費を計上いたしました。

2. 弥彦村農業委員選挙費 1,177千円

3. 新潟県知事選挙費 4,000千円

各選挙執行にかかる経費を計上いたしました。

5項 統計調査費 584千円

1. 統計調査費 584千円

統計調査実施に係る調査員報酬などの経費を計上いたしました。

6項 監査委員費 1,339千円

1. 監査委員費 1,339千円

監査委員の報酬及び監査活動にかかる経費を計上いたしました。

3款 民生費 775,148千円

弥彦村社会福祉計画に基づき、村民誰もが健康で生き生きと、地域や家庭でその能力を発揮し、自分らしく生活できるよう、継続して必要な福祉諸施策を実施してまいります。

高齢者福祉につきましては、介護保険事業で実施している介護予防事業を補完する形で、生活支援・生きがい対策等を地域包括支援センターと緊密に連携を図りながら各事業を実施してまいります。

障害者福祉につきましては、障害者自立支援法に基づく各事業を確実に実施してまいります。

児童福祉につきましては、弥彦村次世代育成対策行動計画に掲げる、「子どもたちが元気に育つ学びと交流の弥彦」の基本理念の実現に向け、より一層子育て支援に積極的に取り組んでまいります。

高齢者・障害者・児童を問わず、村民がひとしく安心して健やかに暮らすことができるよう、福祉・保健・医療・介護が一体となったサービスの提供に努めてまいります。

1項 社会福祉費 445,779千円

1. 社会福祉総務費 192,524千円

職員の人件費計上の他、少子高齢化が進行する中であって、住民のニーズはますます多様化し、行政施策だけでは解決できない問題が数多く発生しており、福祉関係団体と協力するなど地域支え合いの理念の下で、福祉活動推進に努めるための経費を計上し、地域包括支援センターの一層の機能強化を図るため所要の委託費を計上いたしました。

また、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計への繰出金を計上いたしました。

2. 老人福祉費 59,198千円

高齢者が住み慣れた地域で明るく活力のある生活ができるよう、外出支援・紙おむつ給付事業等の各種生活支援事業や、老人クラブ補助金を計上いたしました。

また、生涯を健康で生きがいを持って社会活動が行って行けるように、老人クラブが主体となって実施する健康づくり、介護予防事業、生きがいづくり活動等の社会参加を積極的に支援するため、各教養講座の活動経費を計上するとともに敬老会執行経費についても計上いたしました。

3. 後期高齢者医療費 70,617千円

後期高齢者医療制度に係る広域連合への事務費負担金、療養給付費負担金、保険基盤安定繰出金等を計上いたしました。

4. 障害福祉費 85,884千円

障害者自立支援法に基づく、介護給付費、訓練等給付費、自立支援医療給付費、補装具費等計上し、地域生活支援事業についても必要な事業費を計上いたしました。

また、21年度から23年度までの3年間を計画期間とする第2期障がい福祉計画の見直しに係る事業費についても計上いたしました。

5. 高齢者福祉施設費 30,597千円

高齢者福祉増進のための施設として、観山荘、生活支援ハウス、高齢者総合生活支援センターの管理運営費を計上いたしました。

6. ひとり親家庭福祉費 2,898千円

ひとり親家庭の福祉向上のため、医療費助成事業にかかる経費を計上いたしました。

7. 地域交流施設管理費 4,061千円

保健、福祉、生涯学習事業等を通じ、地域住民の憩いの場や世代間交流の場としての利用推進を図るための施設管理費を計上いたしました。

2項 児童福祉費 329,369千円

1. 保育園費 221,719千円

保育園運営にかかる職員の人件費計上の他、充実した保育サービスを実現するための経費を計上いたしました。

2. 児童手当措置費 77,936千円

支給対象児について、被用者児童手当、非被用者児童手当、特例給付、被用者小学校修了前特例給付、非被用者小学校修了前特例給付等を計上いたしました。

3. 児童健全育成事業費 17,558千円

利用者の増加により、平成20年度から新たに矢作地区にも開設し、3か所で実施する放課後児童クラブ運営経費及びチャイルドシート購入助成経費を計上いたしました。

4. 子育て支援事業費 12,156千円

職員の人件費計上の他、子育て支援事業の拠点である地域子育て支援センターの運営経費及び児童虐待等に対応するため新たに設置する要保護児童対策地域協議会経費、乳児の紙おむつ購入費の一部助成経費を計上いたしました。

4款 衛生費 253,470千円

介護保険制度の見直しが行われ、介護予防を重視した制度となり、高齢者の生活機能低下対策に力を入れることとなりました。健診と併せて生活機能評価を行い、特定高齢者を把握し、介護予防事業として実施してまいります。

64歳以下を対象とした健康相談、健康教育、機能訓練等の老人保健事業は、健康増進事業に移行し、これまでどおり実施しますが、65歳以上を対象としたそれらの事業は地域支援事業として、介護保険事業の中で予算計上しております。

また、医療制度改革により平成20年度から特定健診・特定保健指導が義務化されますが、とりわけ、医療費の中でも大きな割合を占める糖尿病や高血圧などの生活習慣病、なかでもその発症の引き金となるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者や予備軍を早期に発見することを目的とした健診の充実に努めてまいります。なお、健診で発見された該当者や予備軍の方が、食生活の改善や運動習慣を身につけ、より健康的な生活へと自らの行動を変えていただくことを目的に今までの健診指導に加え、特定保健指導の判定基準をもとに、“動機付け支援”“積極的支援”と今まで以上に保健指導を強化いたします。

さらに、昨年度に引き続き、「温泉を活用した健康づくり事業」にも取り組み、高齢者を中心とした健康づくりと介護予防を一層推進し、心も身体も元気な高齢者を目指してまいります。

母子保健事業では、定期的な健診の受診、相談内容の充実に心がけ、早期に児童虐待の兆しをつかみ対応できるよう支援いたします。

1項 保健衛生費 150,962千円

1. 保健衛生総務費 61,816千円

職員の人件費並びに事務に係る経費や公的団体等への負担金及び補助金などを計上いたしました。

また今年度より開始となる後期高齢者医療制度の費用として、特定健診に係る委託経費を計上いたしました。

2. 予防費 30,657千円

特定健診をはじめとする各種がん検診事業や特定指導関連経費、予防接種法に基づく予防接種の機会の拡大を図るための医療機関への委託経費、精神障害者の社会復帰のための相談事業や心の健康づくり講演会の経費などを計上いたしました。

3. 母子保健費 19,460千円

妊婦や乳幼児に対する各種健診事業や教育相談、指導、妊婦一般健診、乳児一般健診の医療機関への委託費、妊産婦や新生児の助産師訪問指導経費を計上いたしました。

4. 環境衛生費 36,854千円

職員の人件費計上の他、ごみの分別の徹底、資源回収等の推進でごみの減量化とリサイクル活動の普及に係る経費を計上いたしました。また、自然とのふれあい及び自然環境の保全・再生を図るため遊歩道（園路）整備に係る経費を計上いたしました。

5. 保健センター費 2,175千円

保健センターの維持管理経費を計上いたしました。

2項 清掃費 102,508千円

1. 塵芥処理費 87,508千円

村内206カ所のごみ収集ステーションにおける、週5回5分別方式によるごみ収集業務委託料、村内27カ所のリサイクルステーションにおける、月2回7分別による資源ごみの収集業務委託料、粗大ごみの戸別収集に伴う業務委託経費、及び燕・弥彦総合事務組合環境センターでの処理に係る経費を計上いたしました。

2. し尿処理費 15,000千円

し尿処理については、下水道未加入世帯のし尿等を年間約900キロリットル収集、処理しております。収集業務委託料及びし尿処理に係る経費を計上いたしました。

5款 労働費 26,642千円

経済情勢は上向き傾向にあるものの、雇用の新規創出にはつながらず、依然として雇用環境は厳しい状況となっております。このような状況のなか、弥彦村商工会、巻職業安定所等関係機関と、緊密な連携を図りながら雇用安定・福利厚生及び組織活動の支援に取り組んでまいります。

1項 労働諸費 26,642千円

1. 労働諸費 26,642千円

勤労者の組織活動支援といたしまして、勤労者協議会補助金、労働災害防止協会補助金、勤労者への融資確保のため労働金庫への預託金、広域勤労者福祉サービスセンターの運営経費等を計上いたしました。

6 款	農林水産業費	1 6 2, 2 2 5 千円
------------	---------------	------------------------

本村の基幹産業である農業を取り巻く環境は、米価の下落など極めて厳しい状況下にあります。

本村においては、「米づくりの本来あるべき姿」の構築を目指した「米政策改革大綱」に基づき策定した「弥彦村水田農業ビジョン」により取り組んできているところですが、昨年度から助成の対象を担い手に絞った「品目横断的経営安定対策」の導入に併せ需給調整システム（生産調整）についても従来の行政主導から生産者・JA等生産者団体が主体的に需給調整を行うシステムへの移行や、農地・水・環境の良好な保全とその質の向上を図る「農地・水・環境保全向上対策」など新たな制度が導入されたところであります。

品目横断的経営安定対策の導入により認定農業者を中心とした担い手の育成に努めてきたところでありますが、平成20年度から制度の基本を維持しつつ地域に定着させるため、制度の名称を「水田経営所得安定対策」と改め、面積要件等について地域の実態に即した見直しが行われることになったところであります。

このような状況の中、本年度予算につきましては、更なる担い手の育成に努めるとともに「弥彦村水田農業ビジョン」の実現に向け、生産調整の推進と「消費者重視・市場重視」の立場に立った「需要に即応した売り切る米づくり」を積極的に推進するとともに、米以外の振興作物である枝豆を中心とした他作物との複合経営並びに付加価値のある特別栽培米や生分解性マルチ等導入による環境保全型農業を推進し、各種支援策を講じてまいります。

1 項	農 業 費	1 5 8, 8 4 9 千円
------------	--------------	------------------------

1. 農業委員会費	5, 5 4 6 千円
------------------	--------------------

農業委員会に関する法律に基づき、農地法及び農業経営基盤強化促進法等の適正な執行と委員報酬など委員会運営に必要な経費並びに各種研修費等を計上いたしました。

2. 農業委員会事務局費	1 8, 7 5 2 千円
---------------------	----------------------

事務局職員の人件費計上の他、各関係法令の適正な運用に努めるとともに農地転用関係の土地利用調整、権利移転調整、農地集積に係る農業経営基盤強化促進法、農地保有合理化事業の推進、更には農業者年金の窓口など、農地行政の確立と農業経営の改善等に対処するための経費を計上いたしました。

3. 農業総務費	1 8, 4 6 2 千円
-----------------	----------------------

農業振興にかかる職員の人件費及び事務費に係る経費を計上いたしました。

4. 農業振興費 **6, 216千円**

依然として厳しい状況にある農業において、経営体育成やスーパーコシヒカリ団地拡大への支援並びに無農薬無化学肥料栽培米及び減農薬減化学肥料栽培米の生産拡大など環境保全型農業を推進し、消費者ニーズに即応できる稲作振興を図るとともに、複合経営推進のための園芸産地化に係る補助事業の実施、水稻の適期共同防除及び有害鳥獣駆除、畜産法定伝染病予防の実施、農業資材の廃棄処理に係る助成や缶詰等農産物加工等に係る経費を計上いたしました。

5. 農地費 **57, 872千円**

農道砂利敷、国・県営かんがい排水事業や生産基盤整備事業負担金及び農地・水・環境保全向上対策等の負担金を計上いたしました。

6. 水田農業構造改革推進事業費 **27, 270千円**

生産調整達成を目標に農家組合、JA等関係機関団体等と緊密な連携を図りながら大豆・枝豆生産の団地化、複合経営による農家所得の向上を目指し、売り切る米づくりなどの各種施策への支援等に係る経費を計上いたしました。

7. 農振一般管理事業費 **1, 553千円**

土地利用計画の見直しに併せ、農業振興地域整備計画についても併せて変更することとし、変更事務に伴う必要な経費を計上いたしました。

8. 農業経営基盤強化対策事業費 **1, 230千円**

水田経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）に対応するため、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定による経営規模拡大の更なる推進と、認定農業者の育成及び利用集積促進のための啓蒙活動等に係る経費を計上いたしました。

9. 農村環境改善施設管理費 **7, 376千円**

農村環境改善センター及び御新田広場の管理運営費を計上いたしました。

10. 国土調査事業費 **14, 572千円**

平成18年度より調査を行っている第30計画区（0.27km²）の一筆地調査に係る経費を計上いたしました。

2項 林業費 **3, 376千円**

1. 林道費 **765千円**

林業振興に対応するため、林道の維持管理に係る経費を計上いたしました。

2. 林業振興費 **2, 611千円**

弥彦公園、城山森林公園等松くい虫被害木の伐採・くん蒸処理並びに黒滝城址森林公園管理委託料等を計上いたしました。

7款 商 工 費 222,536千円

商工業の振興につきましては、上向き傾向にあるものの依然として厳しい経済情勢の中、各事業所への資金確保のため制度資金の預託により制度融資の充実を図るとともに、商工会及び金融機関等関係団体との連携強化により経営の安定化を図ってまいります。

観光客の入り込みにつきましては、中越沖地震での風評被害の影響を受けたところではありますが、観光関係団体一丸となって各種観光キャンペーン並びに宣伝活動を積極的に展開し県内外からの誘客に努めた結果、その効果もあつて除々に回復し、今年の菊まつり期間中における入り込み客数は、弥彦公園紅葉谷への入り込みと合わせ42万人と近年にない入り込みとなりました。

県では各種観光キャンペーン事業を展開しておりますが、これら事業と連動するとともに、新温泉（湯神社温泉）の給湯を契機として観光協会、旅館組合等観光関係団体と一体となって更なる誘客活動・観光イベントの充実を図り、接客サービスなど受け入れ体制の確立や各種補助事業導入による街並みづくりを進めるとともに、滞在型観光地としての魅力ある観光地づくりを推進してまいります。

また、マスメディア・広告看板、印刷物等による宣伝のほか、広域観光時代に対応するためインターネットによる観光情報発信を積極的に行うとともに、関連市町村との相互連携を一層深めるなかで、より効果的な誘客宣伝活動に努めてまいります。

1項 商 工 費 222,536千円

1. 商工総務費 11,685千円

職員の人件費や誘客宣伝に係る旅費を計上いたしました。

2. 商工振興費 162,394千円

商工業の振興を図るため、商工会等の関係機関への活動補助、各事業者への経営資金融資の円滑化を進めるための資金預託などに係る経費を計上いたしました。

3. 観 光 費 37,616千円

観光施設の充実を図るため、駅前駐車場や公衆トイレ等の維持管理に係る経費と誘客宣伝活動経費及び観光イベント（湯かけまつり・燈籠まつり・菊まつり等）事業や温泉振興対策補助金、観光協会補助金など魅力ある観光地整備振興に係る経費を計上いたしました。

4. 公園管理費 10,841千円

弥彦公園、城山森林公園、大戸ファクトリーパークの維持管理、施設修繕に係る経費を計上いたしました。

8款 土木費 535,790千円

道路等は均衡ある地域の発展を図り、活力とゆとりある地域社会の形成と生活基盤を改善するものであります。

とりわけ村道は、住民に最も密着した生活と生産の場をつくり、豊かな地域社会を築くもので、これらの整備としまして、19年度より5カ年計画で着手した「まちづくり交付金事業」を活用した、緊急度に応じたところの村道新設改良整備事業を推進し、快適な集落環境を図るとともに、施設維持管理や交通安全施設の整備に努めてまいります。

また、冬期間安全で円滑な道路交通を確保するために、消雪施設の維持修繕に努めるとともに、19年度より4ヶ年計画で着手した、地方道路交付金事業（雪寒）の「消雪パイプリフレッシュ事業」を活用した、消雪施設の再整備事業を推進し、冬期間の道路交通確保に万全を期してまいります。

1項 土木管理費 18,161千円

1. 土木総務費 18,151千円

職員の人件費並びに負担金等業務に係る経費を計上いたしました。

2. 基金費 10千円

公共用地先行取得の財源確保のため設置しております土地開発基金に対する繰出金として計上いたしました。

2項 道路橋梁費 135,468千円

1. 道路維持費 23,740千円

村道の維持修繕等の工事費として10,000千円及び管理に係る経費や道路照明電気料等を含めた経費を計上いたしました。

2. 道路新設改良費 49,979千円

歩行者空間の改善と交通安全確保の促進を図るため、19年度より着手した「まちづくり交付金事業」を活用した村道の改良整備を推進するとともに、県道路整備費に係る市町村負担金を含めた経費を計上いたしました。

3. 雪害対策費 61,749千円

主要村道で冬期間、生活道路の安全で円滑な交通確保を図るため、除雪機械借上料や消雪施設の維持管理、本年度予定されている河川改修による、消雪施設の移設とともに補修等にかかる経費を計上した他、19年度より着手した「消雪パイプリフレッシュ事業」を活用した消雪施設再整備に係る経費を計上いたしました。

3項 河川費 111千円

1. 河川費 111千円

一級河川の維持保全事業及び普通河川の維持に関する負担金等業務に係る経費を計上いたしました。

4項 下水整備事業費 1,500千円

1. 下水整備事業費 1,500千円

住宅地からの排水不良解消の工事費を計上いたしました。

5項 住宅費 4,613千円

1. 村営住宅管理費 4,613千円

村営住宅の維持管理に係る経費を計上いたしました。

6項 都市計画費 5,937千円

1. 都市計画総務費 4,571千円

都市計画事務に係る経費を計上いたしました。

2. 公園費 1,366千円

児童遊園地で安全に安心して遊べるよう遊具の点検・修理に伴う経費やフラワーロードの管理経費等を計上いたしました。

7項 下水道費 370,000千円

1. 下水道整備費 370,000千円

特定環境保全公共下水道事業の運営費に係る経費を公共下水道事業会計繰出金として計上いたしました。

9款 消 防 費 186,475千円

災害発生時に、村民の生命と財産を守る体制づくりに日夜努力するとともに、火災等の発生を未然に防ぐ啓蒙活動を行っております。また、消防団の士気高揚と組織強化の支援も併せて実施しております。

防災行政無線については、子局での老朽化もありますが、常時整備点検を行い支障のないよう努めております。

1項 消 防 費 186,475千円

1. 常備消防費 164,006千円

燕・弥彦総合事務組合への負担金155,917千円及び消防本部庁舎等建設特別負担金8,089千円を計上いたしました。

2. 非常備消防費 16,002千円

消防団に係る経費を、燕・弥彦総合事務組合に対して消防団事務経費負担金として計上いたしました。

3. 消防施設費 3,931千円

消火栓の整備や集落の消防施設老朽化等に伴う整備費補助金を計上いたしました。

4. 災害対策費 2,536千円

防災行政無線にかかる維持修繕費・保守点検等の経費の他、災害時の備蓄食糧にかかる経費、及び災害用備品購入にかかる経費を計上いたしました。

10款 教育費 328,340千円

弥彦村教育の振興については昨年7月に策定した「弥彦村教育振興計画大綱」並びに「弥彦村第四次総合計画」を基軸として、生涯各期にわたる学習の充実と進展をはかり、弥彦村だからできる教育を展開し、学校教育、社会教育、社会体育の振興と充実、教育環境の整備を効率的に進めます。

学校教育では、「学力の向上」「心の教育の推進」「体位・体力の向上と食育の推進」に取り組み、それを基盤に「総合的学習の時間」の定着と「生きる力」を育てる教育活動の充実を図ります。

学力向上対策として、学習指導支援講師を小学校に3名、中学校に2名村独自で配置し学力の一層の向上をめざします。このことによって、文科省・県教委の方針で小学校3年生及び中学校1年生を2学級編成にすべきところ3学級編成で継続してまいります。

また、教職員の人事管理並びに指導行政部門の強化のため、専門的な識見をもった管理指導主事を1名配置いたします。

さらに、小・中学校が緊密に連携して小・中一体の教育活動を展開し、中1ギャップの解消に努めるとともに、保育園と小学校低学年の指導計画に一貫性をもたせ、スムーズな移行ができるようにしてまいります。

施設面では小学校のランチルーム冷暖房設備工事、中学校の屋内体育館フロア補修工事等を行います。

「心の教育」の推進事業については、過去9年間の実績と成果を踏まえて、児童・生徒の夢と希望を育てる事業を一層充実させるとともに、明るい挨拶、気持ちのよい返事など生活の基盤になる基本的習慣の育成に、学校・家庭・地域・行政が一体となって取り組んでまいります。

心身に障がいを持つ児童に対する特別支援では、介助員を増員するなど万全を期してまいります。

地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校の教育活動や運営について自己評価及び外部からの関係者評価を行い、情報の提供に努めます。小・中学校に設置されている学校評議員の有効な活用をはかるとともに、学校だよりを地域に回覧するなどして村民に児童・生徒の活動の様子を随時お知らせします。

通学路等における子どもの安全確保のため、学校ごとに安全マニュアルの整備をはかり、安全教育の推進に万全を期します。また、保護者、地域、関係団体と緊密な関係のもとに、セーフティスタッフを更新し村をあげての安全推進体制の整備に努めます。

国際化に対応して保育園から小・中学校を通して生きた英語に触れる機会を充実するため、外国人による英語指導講師を引続き配置します。

村としてSSW（スクールソーシャルワーカー）を委嘱し、いじめや不登校対策にも力を注いでまいります。

社会教育では、村民が生涯を通じて「健康で生きがいのある生活」を営むことができるよう、その基盤整備と各種活動を推進します。また、地区・集落などで実施される諸活動を支援してまいります。

文化芸術振興事業では、コミュニティセンターを拠点に、引き続き「弥彦を描く」写生会や公募展、県内の著名な芸術家の企画展等を開催し、より多くの方々に文化芸術にふれる機会を提供し、あわせて弥彦村の活性化をはかることに努めます。

文化会館の運営については当面現状のままとし、効率的な運営を図ってまいります。そのため、専門業者による施設設備の保守点検の他、安全対策として舞台吊り物の補修工事を実施いたします。

弥彦の丘美術館の作品展示を新潟県美術家連盟との契約から、自主企画による展示に切り替えます。

社会体育では、誰もが楽しみながら体力向上や健康づくりを行うことができるコミュニティスポーツを軸とした「弥彦ワールドカップ」事業の推進をはかり、各集落のスポーツ推進員を中心にその普及に努めます。

学校部活動と社会体育との関係強化をはかり、子どもが自分のやりたいスポーツができる環境の整備に努力してまいります。

国体開催の前年となる今年は、8月に自転車競技（トラック）のリハーサル大会を開催します。また、来年の本大会に向けて県自転車競技連盟等関係団体と連携して準備を進めてまいります。

全国選抜招待高校駅伝弥彦大会第17回大会の一層の発展に努めます。

1 項 教育総務費 69,059千円

1. 教育委員会費 2,074千円

教育委員報酬、旅費等の経費を計上いたしました。

2. 事務局費 60,835千円

特別職及び一般職員の人件費、各種負担金、就学援助費及び奨学金貸与事業費の他、管理指導主事1名の賃金を新たに計上いたしました。

学力向上対策として小学校3名、中学校2名の学習支援講師を配置するための経費を計上いたしました。

3. 教育活動推進事業費 1,740千円

「心の教育」を推進する経費及び講師謝礼、校外体験活動費、不登校児童生徒対策相談員賃金等を計上いたしました。

4. 語学指導費 4,410千円

英語講師業務委託料を計上いたしました。

2項 小学校費 68,149千円

1. 学校管理費 42,134千円

学校管理に必要な用務員人件費、光熱水費、燃料費、施設保守委託料、火災保険料の他、児童及び学校教職員健康管理費、特別支援学級介助員賃金、各種検診委託料、コンピュータリース料、備品購入費、教育諸団体負担金等の経費とランチルーム冷暖房設備工事費等を計上いたしました。

2. 教育振興費 4,349千円

教育振興に必要な、講師謝礼、教材費、学力検査費、備品購入費等の経費を計上いたしました。

3. 給食費 21,266千円

調理員人件費、給食用備品購入費、給食用自主流通米補助金等の経費を計上いたしました。

4. 総合的学習支援事業費 400千円

総合的学習支援事業費として計上いたしました。

3項 中学校費 49,283千円

1. 学校管理費 26,052千円

学校管理に必要な用務員人件費、光熱水費、燃料費、施設保守委託料、火災保険料の他、生徒及び学校教職員健康管理費、各種検診委託料、コンピュータリース料、教育諸団体負担金等の経費と屋内体育館フロア補修工事費等を計上いたしました。

2. 教育振興費 4,062千円

教育振興に必要な、運動部外部指導者謝礼、教材費、学力検査費、備品購入費、校外活動補助金等の経費を計上いたしました。

3. 給食費 18,894千円

調理員人件費、給食用消耗品費、給食用自主流通米補助金等の経費を計上いたしました。

4. 総合的学習支援事業費 275千円

総合的学習支援事業費として計上いたしました。

4項 社会教育費 73,423千円

1. 社会教育総務費 12,258千円

一般職員の人件費、美術館長の賃金、社会教育委員の費用弁償等を計上いたしました。

2. 公民館費 8,048千円

公民館の維持管理経費、図書室経費、美術展経費、新潟県アマチュア囲碁将棋名人戦の経費等を計上いたしました。

3. 社会教育活動総合事業費 864千円

成人式経費、成人教育費、青少年教育経費、ブックスタート事業費等を計上いたしました。

4. 文化財保護費 10,688千円

村史編さん事業費、弥彦参道杉並木保存会への補助金、村指定の天然記念物矢作二本松の樹勢回復事業費等を計上いたしました。

5. 総合文化会館費 30,254千円

会館施設の光熱水費、施設設備保守点検費等の維持管理経費、舞台吊物修繕工事及び自主事業経費等を計上いたしました。

6. 美術館費 6,031千円

弥彦の丘美術館の運営維持管理経費を計上いたしました。

7. 旧武石家住宅費 5,280千円

旧武石家住宅の管理費、公開活動事業費を計上いたしました。

5項 保健体育費 68,426千円

1. 保健体育総務費 33,262千円

職員の人件費及び事務費、体育指導委員の報酬や村民体育祭、高校駅伝弥彦大会経費、また体育協会委託料、スポーツ少年団への補助金等の経費を計上いたしました。

2. 体育施設費 18,624千円

弥彦体育館の他各種体育施設の光熱水費、設備等の保守点検費などの維持管理経費並びに村民野球場ナイター照明灯劣化診断調査費等を計上いたしました。

3. 国体推進費 16,540千円

第64回トキめき新潟国体の推進及びリハーサル大会開催のため「トキめき新潟国体弥彦村実行委員会」への補助金と推進体制関係費を計上いたしました。

11 款	災害復旧費	2, 4 2 0 千円
-------------	--------------	--------------------

1 項	土木施設災害復旧費	2, 4 2 0 千円
------------	------------------	--------------------

1.	ガケ崩れ災害復旧費	2, 4 2 0 千円
-----------	------------------	--------------------

公共施設災害復旧工事費及び県への急傾斜地崩壊対策事業負担金を計上いたしました。

12 款	公債費	3 7 4, 2 1 2 千円
-------------	------------	------------------------

1 項	公債費	3 7 4, 2 1 2 千円
------------	------------	------------------------

1.	元 金	3 1 9, 0 6 4 千円
-----------	------------	------------------------

村債発行に伴う元金償還分と補償金免除繰上償還分を計上いたしました。

2.	利 子	5 5, 1 4 8 千円
-----------	------------	----------------------

村債発行に伴う利子償還分 5 4, 9 4 8 千円の他一時借入金利子償還分 2 0 0 千円を併せて計上いたしました。

13 款	諸支出金	2 5 0 千円
-------------	-------------	-----------------

1 項	積立金	2 5 0 千円
------------	------------	-----------------

1.	財政調整基金費	1 0 0 千円
-----------	----------------	-----------------

財政調整基金の運用で発生した利子相当分を積み立てるよう計上いたしました。

2.	寄付金積立基金費	1 0 千円
-----------	-----------------	---------------

寄付者の意向に添った用途に活かすよう基金で保管を行うものです。

3.	減債基金費	1 0 0 千円
-----------	--------------	-----------------

減債基金の運用で発生した利子相当分を積み立てるよう計上いたしました。

4.	全国選抜招待高校駅伝弥彦大会基金費	4 0 千円
-----------	--------------------------	---------------

全国選抜招待高校駅伝弥彦大会基金の運用で発生した利子相当額を積み立てるよう計上いたしました。

14 款	予備費	3, 6 5 6 千円
-------------	------------	--------------------

予備費は、予算外の支出または予算超過の支出に充てるため計上いたしました。

以上、目的別歳出予算の概要について説明いたしました。

平成20年度 特別会計予算

国民健康保険特別会計

1 はじめに

国において医療保険制度の将来にわたる持続的かつ安定的な運営を確保するため医療制度改革関連法が成立し、現在段階的に施行されているところではありますが、いよいよ本年4月にはこの改革の最大の柱である「特定検診・特定保健指導」や、75歳以上の方々を対象とした「後期高齢者医療制度」が創設されるなど、本確的な施行を迎えることとなります。

本村国保は、今年1月末現在で加入世帯数1,409世帯、被保険者数2,909人で加入率はそれぞれ52.9%、33.4%となっています。

高齢化の進展や医療技術の進歩等に伴い医療費が年々増加する一方で、長引く景気の低迷等による国保税収の落ち込みや介護納付金等の増高などにより財源不足が生じ、国保財政は厳しい状況に置かれていますが、「特定検診・特定保健指導」の実施を契機として、更に保健事業の充実を図り、被保険者の健康の保持、増進に努めると共に、医療費の抑制と適正化に取り組んでまいります。

2 保険給付事業

給付水準の推計といたしましては、基本的には、平成19年度実績見込みと近年の実績をベースとし、国民健康保険条例の一部改正により医療費の負担割合の変更、および段階的な退職医療制度の廃止を踏まえ、本村の実情を勘案し計上いたしました。保険給付費といたしまして419,719千円（前年度比6.7%減）。また新しく創設された制度に伴い、後期高齢者支援金等、前期高齢者納付金等の新たな支出が加わり、歳入歳出それぞれ672,000千円を計上いたしました。

3 保健事業

新たに始まった特定健康診査等事業費といたしまして6,426千円、人間ドック助成費、生活習慣病予防事業等の保健事業費といたしまして4,959千円の計11,385千円の予算で取り組んでまいります。

老人保健特別会計

老人保健制度は、平成20年4月から新たに始まる後期高齢者医療制度への移行により、20年度は1ヶ月分の医療費と月遅れ請求分の医療費、さらには精算に係る国庫負担金と一般会計繰出金を計上いたしました。

後期高齢者医療特別会計

1 はじめに

急速な少子高齢化に伴い、増大する高齢者の医療費を社会全体で支えるため、現役世代と高齢者世代の負担を明確にするため、平成18年の医療制度関係法の改正により、20年4月1日から従来の「老人保健制度」に変わり、75歳以上のすべての方と一定の障がいのある65歳以上75歳未満の方を対象とした、「後期高齢者医療制度」が開始されます。

この制度は、19年3月1日に新しく設立された新潟県後期高齢者医療広域連合が保険者となり、資格管理、給付管理、財政運営等を行います。村は、主に各種申請の受付や保険料の徴収に係る事務を行います。

一方、加入者の方は、村に保険料を納め医療機関にかかった医療費の1割（現役並の所得者は3割）を支払い医療を受けます。

また、保険料負担の激変緩和措置として、新たに保険料を負担する被用者保険の被扶養者の保険料負担については、加入時から2年間の軽減措置が講じられることとされ、20年4月から9月までの6ヶ月間は凍結し、10月から21年3月までの6ヶ月間は9割軽減され、この軽減に係る費用は、国が負担することとされています。

2 歳入歳出予算の概要

歳入の主なものとしては、保険料48,024千円、保険基盤安定繰入金15,137千円を計上いたしました。

また、歳出の主なものとしては、総務費4,335千円、広域連合納付金63,161千円を計上いたしました。

介護保険特別会計

1 はじめに

高齢者の方々が住み慣れた地域でいきいきと自分らしく暮らしていけるように、介護保険制度が改正されました。高齢化が進む中、増え続ける介護給付費を軽減し、この制度が長期的、安定的に継続できるよう、予防給付を基本として必要な自立支援のサービスを提供してまいります。

特に今年度は、平成21年から始まる第4期事業計画策定のため、新たな介護保険等検討委員会を設置、計画策定委員会費2,010千円を計上し、利用意向調査等を基により良いサービスが提供できるよう取り組んでまいります。

この制度の運営は、市町村が保険者となり、要介護認定・保険料賦課徴収・新予防給付を含む保険給付及び地域支援事業等の費用支払等の一連業務を行っています。

また、給付等に必要な費用は、国、県、村の財政負担及び被保険者からの保険料により特別会計で運営されています。

2 保険給付事業

介護保険事業計画は、3年間ごとに見直しが行われます。

平成20年度は第3期事業計画の最終年度となり、保険給付費535,196千円（前年度比1.6%増）、歳入歳出それぞれ573,500千円を計上いたしました。

3 地域支援事業

介護保険制度改革により介護予防重視型システムへの転換が図られ、地域支援事業により「活動的な85歳を目指して」介護予防事業を介護保険制度の中で実施しています。

また、制度改正により設置された地域包括支援センターによる一貫・連続的なマネジメント業務により、これまでの各種介護予防事業を更に効率的効果的に行い、より一層の介護予防を推進してまいります。

競輪事業特別会計

最近の経済状況は、昨年からやや減速傾向にあるものの、今後は回復基調をたどり拡大が続くとの見通しが報じられているところであります。しかしながら、競輪の総売上高は、落ち幅こそ緩和されたものの、依然として減少傾向にあります。こうした中、昨年は自転車競技法の改正により交付金の還付制度が創設され、5年間にわたりこの制度が実施されることとなり、施行者としては、この資金を効率的に活用して、競輪事業の活性化にしっかりと結びつけていかななくてはならないと考えております。

このような状況の中で、収支改善計画の確実な実行に向けて積極的かつ効率的な競輪運営を図るための各種施策の実施予算を計上いたしました。

平成20年度は、開催規模の見直しにより、開催日が4節減の58日間となります。今年度は、通算6回目の開催となる「ふるさとダービー」を関係団体のご支援をいただきながら4月19日から22日までの4日間の日程で開催されますが、全国の競輪場、サテライト場から臨時場外売場を設置していただき、前年度の実績などを踏まえ、電話投票を含めて115億円の売上を計上いたしました。FⅠ・FⅡの普通開催は、1日12R制となりますが、日数の削減や前年度の売上を考慮しながら、40億円を計上いたしました。また、3年目を迎えましたナイター場外については、適切な時期をみて開催いたします。

一方、歳出では、開催日数の減により経費の削減もみられますが、普通開催がオール12R制になることから、選手賞金には変化は生じないものの、「ふるさとダービー」に係る経費として、特に広告宣伝、委託料、借上料、負担金を中心に増額計上いたしました。また、交付金還付制度を有効に活用すべく、場内トイレを洋式化し、衛生的かつ快適に利用できるよう施設の整備費に計上いたしました。広報宣伝関係では、全国的にも有名になりました、レディース競輪チーム「スピリッツ」を起用した公開スタジオの運営、ラジオ番組の提供、さらには、昨年立ち上げ、好評だったファンクラブを継続し、新規ファンの拡大を図りながら、弥彦競輪の活性化に努めてまいります。

温泉事業特別会計

湯神社温泉につきましては、昨年、関連設備及び配湯管理設の工事を行い、11月から給湯を開始いたしました。本年度は、弥彦観音寺・桜井郷・湯神社の3つの温泉施設の適切な管理運営と維持修繕を実施してまいります。

歳入につきましては、温泉使用料30,772千円、前年度繰越金227千円など総額31,000千円を計上いたしました。

歳出につきましては、弥彦観音寺温泉事業費4,448千円、桜井郷温泉事業費13,880千円、湯神社温泉事業費3,088千円を計上いたしました。また、一般会計への繰出金を10,000千円計上いたしました。

宅地造成事業特別会計

昨年度、造成工事を完了した宅地造成事業につきましては、住宅展示会開催にかかる宣伝費や販売促進手数料等、きらめきニュータウンの分譲にかかる経費を計上いたしました。

歳入につきましては、財産売却収入32,999千円など総額33,000千円、歳出につきましては、広告宣伝費7,500千円、販売促進手数料6,000千円、一時借入金利子5,000千円などを計上いたしました。また、一般会計への繰出金を10,000千円計上いたしました。

平成20年度 公営企業会計予算

弥彦村水道事業会計

年次計画で取組んでおります老朽管（石綿管）の布設替えは、前年度、横断推進工事を完了しているJR弥彦線農協踏切の配水管の接続と昨年、湯神社温泉配湯管布設工事で確認されました弥彦地内の石綿管配水管の更新工事等に取り組んでまいります。

また、浄水場の現存の施設・配水管の維持管理に重点を置き、安全な水を安定供給し、有収率の向上と安定経営を図ってまいりますとともに、弥彦村水道事業の将来の指針を探るため国、県から策定を薦められております弥彦村地域水道ビジョンの調査、策定を進めてまいります。

経営状況につきましては、昨今の経営状況等により、売り上げの増加は望めず、厳しい状況であります。経費の節減をはじめ、安全な水を安定して供給するため施設の整備点検を行い、適切な管理運営に努めてまいります。

収益的収支のうち、収入につきましては、水道使用料241,532千円（前年比95.4%）を含め総額245,043千円、支出につきましては、浄水及び給水費77,449千円、総係費37,450千円、企業債利息24,339千円（前年比93.8%）など総額224,796千円を計上し、利益20,247千円を見込みました。

また、資本的収支のうち、収入につきましては、工事負担金10千円、支出につきましては工事請負費15,000千円（前年比53.6%）、企業債元金償還金43,565千円（前年比79.7%）など総額59,670千円を計上いたしました。

弥彦村特定環境保全公共下水道事業会計

昭和52年度に事業認可を受けて鋭意、事業の推進を図ってきました。現在、普及率約99.8%、水洗化率約80.1%となっております。

西川流域下水道接続事業については、早期接続に向け幹線管渠布設工事を引き続き行ってまいります。また、下水道地震対策として下水道地震対策緊急整備計画を策定いたします。

経営状況につきましては、依然厳しい状況ではありますが、安定経営のため今後も加入促進に努めるとともに経費の節減を図ってまいります。

収益的収支のうち、収入につきましては、下水道使用料158,382千円（前年比99.1%）一般会計負担金、繰入金295,000千円（前年比100%）など総額453,387千円、支出につきましては、管渠及び処理場費111,183千円、企業債支払利息148,605千円（前年比95.1%）など総額439,257千円を計上し、14,130千円の利益を見込みました。

また、資本的収支のうち、収入につきましては、企業債363,300千円、国庫補助金82,500千円、一般会計からの出資金75,000千円など524,300千円を計上し、支出につきましては、工事請負費165,700千円（前年比192.7%）企業債元金償還金526,572千円（前年比189.0%）などと合わせ、総額727,541千円を計上いたしました。

平成20年度 課別施策事業一覧表

【総務課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
総務費 一般管理費	128,534	・職員の資質向上のため講習会の実施や、県の人事事務組合主催の研修会への参加 ・通園通学送迎と巡回バスの運行	研修旅費 221 人事事務組合研修負担金 118 マイクロバス運転業務委託料 15,600
文書広報費	3,734	・わかりやすい広報紙の作成及び発行 ・ホームページ一部リニューアル	広報等発行費 2,788 ホームページ更新委託料 700
財産管理費	27,129	・やひこ桜井郷温泉民活関連用地取得 ・児童バス停設置工事	やひこ桜井郷温泉民活関連用地取得費 20,370 児童バス停の改築 900
交通安全啓蒙普及費	250	・交通安全意識の高揚を図るための、事故防止啓発用品の配布及び中学校自転車通学用ヘルメット購入費補助 ・長寿社会セーフティシルバー運動の推進	交通事故防止啓発用品費 76 中学校自転車通学用ヘルメット購入補助金 146 長寿社会セーフティシルバー運動事業費 20
交通防犯施設整備事業費	800	・路面表示、反射鏡、防犯街路灯等の整備	交通安全対策等工事費 800
企画総務費	7,741	・第五次総合計画の策定	総合計画策定業務委託 3,500
人材づくり事業費	256	・本村の未来を担う人材の育成と地域活性化へ繋がる事業等への補助	人材育成事業等助成金 200
景観づくり事業費	120	・電柱カラー化の推進	電柱カラー化推進負担金 100
IT推進事業費	11,380	・L G W A N及び総合行政システムにかかる経費	基幹業務電算機器賃借料 5,259
簡易郵便局運営費	5,296	・矢作簡易郵便局の運営	郵便業務嘱託員賃金 4,564
弥彦村農業委員会選挙費	1,177	・弥彦村農業委員会選挙の執行	弥彦村農業委員会選挙の執行経費 1,177
新潟県知事選挙費	4,000	・新潟県知事選挙の執行	新潟県知事選挙の執行経費 4,000

【総務課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
消 防 費			
消防施設整備事業費	3,931	・安全な暮らしを守るための消防施設の充実	消防施設整備工事費 3,681 消火栓ホース・格納庫・ノズル購入補助金 250
災 害 対 策 費	2,536	・災害時における食糧、毛布等の備蓄品購入 ・避難所用ストーブ購入費	災害応急資材費 300 備品購入費 200
温泉事業特別会計			
弥彦観音寺温泉事業費	4,448	・弥彦観音寺温泉の運営管理経費	弥彦観音寺温泉の運営管理経費 4,448
桜井郷温泉事業費	13,880	・桜井郷温泉の運営管理経費	桜井郷温泉の運営管理経費 3,880
湯神社温泉事業費	3,088	・湯神社温泉給湯のための施設整備費	湯神社温泉の運営管理経費 3,088
宅地造成事業特別会計			
宅地造成事業費	27,660	・きらめきニュータウン分譲のための事業費	広告宣伝費 7,500 販売促進手数料 6,000 一時借入金利子 5,000

【住民福祉課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
民生費			
地域福祉事業費	21,069	・地域福祉事業の円滑確実な実施	社会福祉協議会補助金 11,439 地域福祉推進事業補助金 537 戦没者追悼法要委託料 350 地域包括支援センター運営委託料 6,186 貸付金(住宅整備資金預託金) 2,000
老人福祉事業費	10,343	・在宅老人福祉事業(村単)	長寿祝品 760 寝たきり老人家庭紙おむつ支給事業委託料 3,500 在宅介護支援金 3,000 敬老会執行経費 1,629
在宅老人福祉事業費	5,157	・在宅高齢者に対する各種生活支援事業及び各施設の運営	寝たきり一人暮らし老人寝具乾燥事業委託料 353 外出支援等サービス事業委託料 2,956 在宅老人生活支援事業委託料 1,553 社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業 200
老人施設入所措置費	42,138	・特別養護老人ホームへの建設費償還等の負担	県央寮負担金 1,664 桜井の里福社会弥彦村特養建設費償還負担金 20,333 桜井の里福社会分水町特養建設費償還負担金 7,176 ふれあいプラザ建設費償還負担金 9,415 高齢者総合生活支援センター建設費償還負担金 3,390
老人クラブ助成事業費	1,560	・老人クラブ連合会及び各単位クラブ(12クラブ)と連携を図りながら、生きがいつくりの場の提供や助成事業を実施	老人クラブ運営費補助金 600 老人クラブ連合会活動促進費補助金 800 高齢者地域ふれあい事業費補助金 160
後期高齢者医療費	70,617	・広域連合へ納付する事務費、療養給付費等を計上	広域連合共通費負担金 6,747 後期高齢者療養給付費負担金 44,398 保険基盤安定繰出金 15,137

【住民福祉課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
民生費 障害者医療費助成事業費	17,409	・重度心身障害者の保健及び福祉の向上を図ることを目的に重度心身障害者に対し医療費を助成	重度心身障害者医療費協力事務費 644 重度心身障害者医療費助成金 13,000 精神障害者医療費助成金(村単) 3,400
在宅障害者福祉(村単)事業費	1,596	・重度心身障害者世帯の経済的負担の軽減を目的に扶養共済の助成や在宅介護手当の支給	心身障害者扶養共済助成金 209 在宅重度心身障害児・者介護手当 480 在宅心身障害者配食サービス事業委託料 900
障害者自立支援事業費	61,266	・障害者自立支援法に基づく各サービスの実施と給付	介護給付費 45,100 訓練等給付費 5,300 自立支援医療給付費 5,310 補装具給付費 935 障がい福祉計画策定業務費 1,300
地域生活支援事業費	5,590	・障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう各種サービスの実施	日中一時支援事業委託料 382 移動支援事業委託料 346 相談支援事業委託料 900 地域活動支援センター負担金 2,016 重度身体障害児者日常生活用具給付費 1,746 身体障害者用自動車改造等助成事業費 200
高齢者福祉施設費	30,597	・高齢者福祉施設の管理運営	観山荘管理運営費 5,570 生活支援ハウス運営委託料 7,000 高齢者総合生活支援センター管理運営費 18,000
ひとり親家庭福祉費	2,898	・ひとり親家庭の保健の向上と経済的な軽減や福祉の増進を図ることを目的とした医療費助成事業	ひとり親家庭医療費協力事務費 240 ひとり親家庭医療費助成金 2,445
地域交流施設管理費	4,061	・地域交流施設の管理運営費	夢の木はうす管理費 2,724 地域交流センター管理費 1,337

【住民福祉課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
民生費			
保育園費	221,719	・3保育園の管理運営	保育園管理運営費 221,719
児童手当支給事業費	77,936	・児童手当支給事業	児童手当 77,936
放課後児童クラブ運営費	17,166	・就業等により昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童の健全育成を図るため放課後児童クラブを3箇所を実施	弥彦、矢作、夢の木キッズ運営経費 17,166
チャイルドシート普及事業費	392	・6歳未満児の乳幼児に対してチャイルドシートの購入費の一部を助成	チャイルドシート購入助成金 389
子育て支援センター運営事業費	10,076	・子育て支援センターの管理運営	子育て支援センター管理運営費 10,076
要保護児童対策地域協議会運営事業費	80	・児童虐待等の問題に対応する協議会の運営	80
乳児紙おむつ支援事業費	2,000	・子育てを担う若い世代を支援するため、乳児紙おむつ購入に要する経費助成	乳児紙おむつ購入費助成金 2,000

【住民福祉課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
衛生費 健康増進事業費	20,941	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療確保法に基づく村民の健康増進のための特定健診、特定指導、健康相談（C型肝炎検査、前立腺がん検査の実施） 各種がん検診の実施 	特定健診経費 5,301 健康相談、健康教育、訪問指導経費 1,219 各種がん検診委託費 12,240
予防接種事業費	8,909	<ul style="list-style-type: none"> 法定伝染病（結核予防法による接種は除く）予防のためワクチン接種委託事業 高齢者のインフルエンザ予防接種助成事業 子どものインフルエンザ予防接種補助（子育て支援）事業 	医療機関個別接種委託料 4,284 インフルエンザ接種助成 3,000 インフルエンザ接種補助 500
結核予防事業費	599	<ul style="list-style-type: none"> 結核予防のための胸部X線撮影及びこれに準ずる検査事業 	X線間接、直接撮影他委託料 599
精神保健事業費	208	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の社会復帰を目指すため相談事業や家族会の研修などの自立促進事業 	精神衛生相談員他報償費 160 自立促進教室材料費 18
母子保健衛生事業費	4,302	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児、妊婦健診の実施及び育児教育、相談の実施 乳児及び妊婦の医療機関への健康診査委託事業 	各種健診事業費 1,500 医療機関健康診査委託料 2,300
う蝕予防事業費	770	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児、妊婦の歯科検診事業及びフッ素洗口委託事業 	歯科検診医師報償費 592 フッ素塗布及び洗口材料費 145
乳幼児医療費 助成事業費	14,388	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児医療費助成事業 	乳幼児医療費協力事務費 1,816 乳幼児医療費審査委託料 936 乳幼児医療費助成金 11,500

【産業振興課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
労働費 労働諸費	26,642	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒就職者の激励と今後の雇用促進 ・勤労者協議会の育成補助 ・労働者の労金利用預託 	新卒就職者激励会・雇用促進懇談会経費 100 勤労者協議会補助金 50 労働金庫預託金 20,000
農林水産業費 農業振興事業費	2,821	<ul style="list-style-type: none"> ・弥彦村農業の振興を総合的に図るための各種事業の実施 ・各種農業関係借入金に対する利子補給 ・スーパーコシヒカリ団地の育成事業 	農業振興協議会負担金 1,250 農業経営基盤強化資金利子補給 159 稲作振興事業補助金 349
朝市・缶詰加工・生活アドバイザー事業費	1,565	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工事業の促進 	缶詰加工用資材費 700 観光朝市看板作成費 200
有害鳥獣等駆除及び共同防除事業費	1,830	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣駆除並びに共同防除事業の推進 ・畜産の法定伝染病予防の推進 ・農業資材廃棄物処理への助成 	有害鳥獣駆除資材及び委託料 450 共同防除推進事業補助金 630 法定伝染病予防事業補助金 250 農業資材廃棄物処理補助金 300
農地費及び国・県営土地改良事業費	57,872	<ul style="list-style-type: none"> ・農道整備費 ・国・県営等農道・用排水整備事業に伴う負担金 ・県営農業農村調査計画費負担金 ・農地・水・環境保全向上対策負担金 ・元気な地域づくり整備事業補助金 	農道砂利敷代 1,000 農道・用排水事業負担金 46,962 県営農業農村調査計画費負担金 900 農地・水・環境保全対策負担金 5,509 元気な地域づくり整備事業補助金 1,647

【産業振興課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
農林水産業費 水田農業構造 改革推進事業費	27,270	<ul style="list-style-type: none"> 産地づくり対策事業への助成 各集落単位による生産調整推進活動補助 弥彦村水田農業推進協議会への助成 観光に結び付けた農業振興としてのコスモス団地及び菜の花団地の設置 	水田農業構造改革補助金 24,000 水田農業構造改革推進費補助金 1,610 米政策改革推進協議会等支援事業補助金 500 コスモス団地種苗代 315
農業経営基盤 強化対策事業費	1,230	・利用権設定による認定農業者への規模拡大の推進支援	経営規模拡大促進事業補助金 1,000
農村環境改善施設 管理費	7,376	・農村環境改善施設の維持管理	農村環境改善センター管理費 5,765 御新田広場管理費 1,611
林業振興事業費	2,516	<ul style="list-style-type: none"> 松くい虫被害拡大防止のための防除及び危険木等処理事業 黒滝城址森林公園管理事業 	松くい虫防除他委託料 1,400 黒滝城址森林公園管理委託料 898

【産業振興課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
商工費 商工振興事業費	162,280	<ul style="list-style-type: none"> 信用保証協会利用の借入者に対する保証料の補給 弥彦村商工会の育成補助 商工業者への融資預託 	県信用保証協会保証料負担金 523 商工会補助金 6,100 産業育成資金預託金 70,000 弥彦村商工観光振興資金預託金 50,000
観光振興事業費	26,650	<ul style="list-style-type: none"> マスメディアによる宣伝 印刷物による宣伝 観光イベント事業推進にかかる事業経費 観光協会への観光誘客活動に対する補助 弥彦温泉振興に対する補助 	看板広告料 540 テレビ・新聞・雑誌等広告料 3,000 テレビ番組制作費 368 宣伝ポスター作成代 1,150 燈籠まつり協賛行事負担金 7,600 湯かけまつり負担金 500 菊まつり負担金 4,000 観光協会補助金 5,100 弥彦温泉観光旅館組合補助金 3,400
公園管理事業費	10,841	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理、施設修繕にかかる経費 	弥彦公園管理費 6,594 公園内施設環境整備工事費 2,800 森林公園管理費 1,110 大戸ファクトリーパーク管理費 337

【建設企業課】

(単位：千円)

41

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
衛生費 環境衛生対策費	24,168	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別収集に対する啓発用品の配布及び環境整備のための自動車借上経費 資源回収でごみの減量化、リサイクル活動に要する経費 大字並びに町内会が行う環境整備事業等への補助 ごみ有料化還元策事業 自然環境の保全を図るための遊歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集カレンダー等印刷製本費 551 環境整備自動車等借上料 1,100 ごみステーション設置等補助金 250 資源回収地区活動費補助金 950 資源回収収納庫購入費 945 予防薬剤購入補助金 500 予防機購入補助金 50 コンポスト購入補助金 36 電動式生ごみ処理器購入補助金 105 遊歩道整備費（自然環境整備事業） 18,800
塵芥処理費	87,508	<ul style="list-style-type: none"> 塵芥収集業務委託料 資源ごみ収集業務委託 粗大ごみの戸別収集業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 塵芥収集業務委託料 20,500 資源ごみ収集業務委託料 2,100 粗大ごみ収集業務委託料 2,100
農林水産業費 国土調査事業費	14,572	<ul style="list-style-type: none"> 地籍調査事業 	<ul style="list-style-type: none"> 一筆地調査業務委託料 4,518 地籍図根多角測量業務委託料 2,496 地籍細部測量業務委託料 5,476
林道管理費	765	<ul style="list-style-type: none"> 林道6路線の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 林道維持修繕費 700
土木費 道路新設改良事業費	47,500	<ul style="list-style-type: none"> 快適な集落環境を図るための村道改良整備 県道路改良等工事に対する負担金 	<ul style="list-style-type: none"> 道路新設改良工事費（まちづくり交付金事業） 46,000 県道路改良等工事負担金 1,500
雪害対策施設整備費	41,900	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の安全で円滑な道路交通を確保するための消雪施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 消雪施設整備工事費 16,900 (消雪パイプリフレッシュ事業) 消雪施設修繕工事費 25,000

【教育課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
教育費 (教育総務費) 事務局費	42,836	・大学生、高校生、専門学生等への奨学金の貸付 ・準要保護児童生徒就学援助及び特別支援学校就学援助	奨学貸付金 13,320 就学援助費、特別支援学校就学援助費 2,323
学校費	17,999	・管理指導主事配置 ・小学校(3名)中学校(2名)に学習指導支援講師を配置	管理指導主事賃金 2,800 学習指導支援講師賃金 10,800
教育活動推進事業費	580	・教育相談員委託料 ・校外学習活動経費補助	不登校児童生徒対策事業賃金 480 校外体験活動費(中学2年生) 90
心の教育推進事業費	1,160	・小学校低学年・保育園鑑賞会 ・本物にふれる会 ・ふれあい音楽の集い	出演料等 400 講師謝礼、出演料等 600 事業費 100
語学指導費	4,410	・ALTによる小・中学校英語指導	英語講師業務委託料 4,410
(小学校費) 施設管理費	23,875	・施設整備工事	ランチルーム冷暖房設備工事 8,244 山崎側フェンス補修工事 651 グラウンド昇降用階段補修工事 497
一般管理費	18,529	・特別支援介助員配置(4名)	特別支援介助員賃金 4,680
教育振興事業費	4,349	・教育振興に要する経費 ・学力検査公費補助・スポーツテスト結果集計経費等 ・通学バス借上げ	教材費、備品、図書購入費 2,100 学力検査費・スポーツテスト委託料等 396 通学バス借上料 681
給食費	21,266	・美味しく安全な給食の提供	臨時調理員賃金 2,841 自主流通米補助金 435

【教育課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
(中学校費)			
施設管理費	14,084	・環境整備工事 ・施設管理工事 ・施設管理委託	屋内体育館フロア補修工事 1,050 体育館雨漏り補修工事 400 施設管理委託費 4,054
教育振興事業費	4,062	・教育振興に要する経費 ・各種大会出場参加費・交通費補助 ・学力検査費公費補助	教材費、備品、図書購入費 2,000 校外活動補助金 800 学力検査費 359
給食費	18,894	・美味しく安全な給食の提供	臨時調理員賃金 918 自主流通米補助金 235 保存食用冷凍庫 431
総合的学習支援事業費	275	・体験学習事業謝礼 ・総合的学習支援事業費	講師謝礼 30 消耗品、印刷製本費他 245
(社会教育費)			
図書室運営事業費	479	・図書購入等	図書購入費 400
美術企画展事業費	3,250	・第6回「弥彦を描く」公募展経費 ・企画展（にいがたの女流作家10人展）	公募展事業経費 1,650 写生会経費 300 美術企画展経費 1,300
その他事業費	300	・新潟県アマチュア囲碁将棋名人戦	新潟県アマチュア囲碁将棋名人戦事業費 300
社会教育事業費	864	・女性のための学習セミナー費（料理教室等） ・書き初め教室、料理教室 ・青少年健全育成推進費（地域子ども会活動費） ・子どもの心を育てるブックスタート事業費 ・成人式経費 ・ふるさと太鼓育成補助金	講師謝金、事業経費等 115 講師謝金、事業経費等 81 地域子ども会活動費 180 ブックスタート事業経費 70 成人式経費 258 弥彦山太鼓育成補助金 30
文化財保護総務費	790	・弥彦参道杉並木保存事業	弥彦参道杉並木保存会補助金 300

【教育課】

(単位：千円)

事業別予算名	総事業費	主な事業内容	主な歳出
(社会教育費)			
村史編さん事業費	8,599	・村史編さん事業	村史編さん校正賃金 1,800 村史印刷製本費 6,300
二本松樹勢回復事業	1,299	・村指定天然記念物矢作二本松の樹勢回復	スミパイン剤、殺菌殺虫剤の散布他委託料 1,299
文化会館管理費	29,654	・文化会館管理費	舞台吊物修繕工事 2,400
文化会館自主事業費	600	・「本物の舞台芸術体験事業」	事業経費 600
美術館管理費	6,031	・管理運営経費	管理人賃金 2,288 企画宣伝事業費 2,015
旧武石家住宅管理費	4,749	・管理運営経費 ・施設管理工事	管理委託料 1,265 味噌蔵屋根修繕工事費 2,730
旧武石家住宅公開活用事業費	531	・旧武石家と公民館麓支館民俗資料館展示室を関連させた、公開と活用事業の実施	コンサート経費等各種行事経費 531
(保健体育費)			
保健体育総務費	26,752	・高校駅伝弥彦大会補助金	第17回高校駅伝弥彦大会補助金 9,500
生涯スポーツ振興事業費	5,940	・スポーツ推進員費 ・村民体育祭開催経費 ・弥彦ワールドカップ開催経費 ・各種大会開催経費 ・体育協会加盟クラブ強化費、各種大会運営委託費	推進員、指導者謝礼 1,630 村民体育祭経費 900 弥彦ワールドカップ経費 480 生涯スポーツ事業費 370 体育協会委託料他 2,340
ジュニアスポーツ振興事業費	570	・ジュニアスポーツ振興事業	ジュニア自転車競技スポーツ事業費 570
体育施設管理費	18,624	・体育施設維持管理	村営各種体育施設維持管理費等 18,624
国体推進費	16,540	・第64回トキめき新潟国体準備のための推進費 ・国体実行委員会補助金	推進業務嘱託員賃金 3,340 推進費、リハーサル大会補助金 13,200